

審査項目及び審査基準 (案)

項 目			配点	基 準
大項目	小項目			
申込事業者の 状況	1	申込事業者の事業 遂行体制・信頼性	15点	・申込事業者が活用計画を遂行するにふさわしい体制を有しているか ・申込事業者がこれまで活用計画と同種の事業を実施してきた実績がある など、信頼性を有しているか
	2	申込事業者の財 務・経営状況	10点	申込事業者の財務、経営状況は十分で、安定しているか
計画の内容	3	活用計画の実現 性・安定性	20点	・実施体制や資金計画、関係法令等に基づいた実現性の高いものである か ・長期収支計画等に基づいた安定性があるか ・全年齢型の野外活動施設としてリニューアルのうえ運営する内容となっ ているか ・検討会議の報告書に掲げられている3つのキーコンセプトを意識した提 案であるか ・危機対応(コロナ、災害等)は十分な内容となっているか
	4	大原百井地域をは じめ京都市全体の 賑わい創出	15点	・施設名称は「百井」の地名を含んだものであるか ・大原百井地域をはじめ京都市全体の賑わいの創出や本地域ならではの ブランド力を確立し、高めていけるような取組の提案であるか ・地域の特性を生かした体験やイベント、周辺地域との回遊性の向上等の 地域の活性化につながる事業の提案であるか ・建築物等を新たに設置する場合、建築基準法をはじめ現行法令を遵守 のうえ、周囲の景観と調和する材質・色調とする、「京都市公共建築物低 炭素仕様」に準じて京都市内産木材を使用するなど、本地域の新たな核と なる施設にふさわしい外観・内装を兼ね備えた提案であるか
	5	地域のまちづくりへ の貢献	15点	・自治会などのまちづくりに積極的に参加するとともに、こうした活動に対 し、協力・支援していくこと、地元特産品を使った食事やお土産の提供、本 地域での農林業体験等の事業の提案であるか ・施設運営に関する連絡協議会の設置・運営に関する内容が盛り込まれ ているか
	6	利便性の向上、 SDGsの推進など新 たなニーズへの対 応	15点	・物販や利用料金の決済方法の充実等の利便性の向上につながる提案 であるか ・森林の整備や森林資源・空間の利用促進、グリーン・エコツーリズムにつ ながる事業の提案であるか ・コロナ禍を踏まえた新しい生活様式への対応として、リモートワークや ワーケーション等、都市部から離れた本地域ならではの自然環境を生かし た事業の提案であるか ・(任意)京都ならではの文化体験や創造的な担い手の育成、生物多様性 豊かな自然環境の保全・利用、生涯にわたって活躍できる健康長寿のまち づくりに関する事業の提案であるか
価格評価	7	貸付希望価格の多 寡	10点	貸付希望価格に応じた評価点(最高価格を提示した申込事業者の価格 と、最低貸付料との比により、それぞれの申込事業者の点数を定める)
合 計			100点	

※ 本市が事前に定める予定価格以上で、かつ、最高の得点(ただし60点以上)を獲得した者を活用事業者とする。

また、提出書類の内容が不適当と判断した場合又は審査項目において委員の過半数が不適当(0点)と判断した場合、故意に虚偽のある応募については、当該申込者を失格とする場合がある。